

★★小澤会長テーマ「手に手を取って、前を向いて。まずは親睦!」★★



ROTARY CLUB of TOKYO-MINATO

2020 年 7 月 21 日 (第 1514 回)

2020-2021 年度

VOL. 34 No. 3 通算 1429 号



[聖坂] この坂は三田 3 丁目から三田臺町済海寺の方へ上る坂、かつては長さ 百間幅二間五尺ほどの細長い坂であったが、今は大きな道になった。

“ロータリーは機会の扉を開く”
Rotary Opens Opportunities

RI 会長 ホルガー・クナーク

2020-2021 年度理事・役員 (敬称略)	
会 長	小澤 哲郎
副会長	浅川 博道
会長エレクト	福原 秀美
直前会長	石曾根 良
幹 事	高添 俊幸
会計監事	吉田真紀子
会 計	高取 良雄
理 事	福田 守弘(クラブ運営担当)
〃	弦本 将裕(会員組織担当)
〃	志賀 律子(親睦担当)
〃	宮本 敏行 (奉仕プロジェクト担当)
〃	小池 美和(国際担当)

お知らせ

2020-21 年度みなと区民まつりは「中止」です。
また、港区ハーフマラソンも「中止」です。

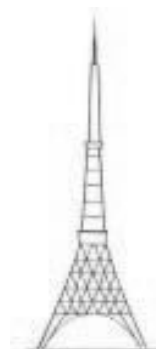
★2020-21 年度 8 月の納涼夜間例会と 11 月の親睦旅行は現況を鑑み「中止」といたしました。

2019-20 年度「ロータリー財団寄付 3 部門達成クラブ」として表彰されました。



★義援金箱報告★

7 月 14 日 0 円 累計 42,542 円



東京みなとロータリークラブ
TOKYO MINATO ROTARY CLUB

事務局: ☎108-0014 東京都港区芝 4-12-4 名倉堂ビル

Office: Nagurado Bldg. 4-12-4 Shiba Minato-ku Tokyo 108-0014

Tel: 03-5232-3514 Fax: 03-5232-3515

東京みなとロータリークラブ		
会長	小澤 哲郎	幹事 高添 俊幸
副会長	浅川 博道	
例会日	毎週火曜日12時30分	Meeting Every TUESDAY 12:30
例会場	東京プリンスホテル	Tokyo PRINCE Hotel
創 立	昭和 62 年 6 月 23 日	Established 23rd Jun 1987

☆本日の例会
ロータリーソング 手に手つないで
牧場の朝
「第2回クラブフォーラム」(クラブ協議会)
◎本日はライトランチデーです。

♪牧場の朝♪
一、ただ一面に立ち込めた
牧場の朝の霧の海
ポプラ並木のうっすらと
黒い底から 勇ましく
鐘が鳴る鳴る かんかんと

第1513回例会(2020年7月14日レポート)
点 鐘 : 小澤 哲郎会長
ロータリーソング: 我等の生業
夏は来ぬ
ソングリーダー : 上原 空也君
ビジターとゲスト 0名
出席報告 出席数 23名 出席率 71.88%
会員数 32名 計算出席数 32名
前々回修正出席率 75.68%
6月修正出席率 72.30%

会長報告
※7月ご夫人誕生日おめでとう。(2名)
※前年度地区会長会(6/16開催)にてロータリー財団3部門達成クラブの表彰状を頂きました。皆様のご協力に深謝いたします。

幹事報告
※地区より協力要請の「令和2年九州豪雨災害義援金」を募らせて頂きます。義援金袋を回しますので、お一人1,000円以上の協力の程お願い申し上げます。
※2020-2021年度「活動方針と計画書」を配布しました。また、この中にも掲載されていますが、一部修正がありましたので今年度の主要行事表を配布しました。
※港区社会福祉協議会法人会費2020年度分及び日赤会員2020年度分をニコニコ基金より払い込みましたのでご報告します。

※1枚の用紙で「クラブ協議会(9/29)・ガバナー公式訪問10/28(水)」の開催案内を配布しました。7月28日迄に出欠をご提出下さい。尚、今年度のガバナー公式訪問2クラブ合同例会は当クラブがホストですが、10月28日(水)開催となります。当クラブは10月27日(火)例会を振替にしますのでご注意ください。
※前年度理事・役員・各委員長にご依頼の「一年のあゆみ」は本日提出締切です。
※7/9付メールにて会員名簿校正依頼を致しました。7月21日までに修正ある・なしに関わらずご回答ください。期日(7/21)までに回答なき場合は「修正なし」として判断させていただきますのでご了承ください。

ニコニコBOX 坂野副SAA
小池→板野さんの初ニコニコさせていただきます。
コロナの感染者も増加していますが、罹らない、移さないを肝に命じてできることをしていきたいですね
弦本→早く夏を迎えて、コロナも吹き飛ばしてエンジョイしましょう!!
福田→板野さん、初ニコニコよろしくお願います。
宮本→福田さんと目が合いました。久しぶり。
吉田(眞)→コロナ渦で発生した九州・岐阜・長野での豪雨災害により犠牲になられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますと共に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。
坂野→先週は年度初めの例会に欠席となり失礼いたしました。小澤会長の下での新年度の活動を楽しみにしております。
累計 45,000円

ロータリー財団 恒久基金とは?
1,000ドル以上の寄付者をベネファクターと言います。この恒久基金への寄付をしていた場合、いただいた寄付は基金として積み上げ、その元金には手をつけずにその運用益のみを使用していきます。
運用益は一般管理費などに使われる他、WFとDDFにも配分され、地区で行うプロジェクトにも使用されます。

《世界ポリオ根絶イニシアティブ(GPEI)の最終戦略に対し、カナダ政府が新たな公約を発表》

新型コロナウイルスのパンデミックが世界的な問題となっている昨今、毎年何百万もの命を救っているワクチンと予防接種の効果を認識することがこれまで以上に重要となっています。このような中、カナダのカリナ・グルド国際開発相がワクチンの供給に新たな出資を行うことを発表しました。グルド大臣は、世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の最終戦略への支援として、4750万カナダドル(約36億5千万円)を4年間にわたり毎年拠出し、また予防接種の普及に取り組む「GAVIワクチンアライアンス」への資金提供についても、次の増資を待たずに期間を延長しました。過去30年にわたる世界各地でのポリオ予防接種活動が功を奏し、1800万人を超える人びとがまひを患うことなく、今日も自分の足で歩いています。また、医療従事者や地方自治体、世界各地のパートナー団体による懸命な努力のおかげで、ポリオの症例数も99.9%減少しました。GPEIは、カナダ政府など、この取り組みの進展を後押ししてくれる寛大なドナーからの支援を誇りとしています。今回の新たな出資により、GPEIはこれまでの成果を無駄にせず、実行可能となり次第すぐに活動を再開し、ポリオ根絶を妨げる障害を乗り越えるための戦略を実行に移すことで、「ポリオのない世界」という夢にさらに近づくことができるようになります。グルド大臣はこう述べています。「国際社会の一員である私たちは、女性や子どもといった最も弱い立場にある人びとが予防接種を受け、世界のどこに住んでいようと健康的な生活を送ることができるよう努めるべきです。新型コロナウイルスは、ウイルスに国境はないということの教訓となりました。つまり、カナダ国民の健康も、世界すべての国の一人ひとりの健康に左右されるのです。だからこそ私たちは一丸となり、より強い世界を作っていく必要があるのです」。さらに大臣は次のように続けます。「かつて世界がこれほどポリオの根絶に近づいたことはありませんが、またやることは残っています。アフガニスタンとパキスタンで感染が続く限り、気を緩めることはできません」世界の最前線で働くポリオ根絶活動の従事者たちは現在、新型コロナウイルスの対応支援にあたっており、GPEIが立ち上げたネットワークを活用して、症例の発見、感染経路の追跡、検査、データ管理に全力を注いでいます。カナダ政府も加盟するG7やG20でも、とりわけ世界で最も弱い立場にある人びとの間で医

療制度を強化し、世界的な健康安全保障を推進する上で、GPEIのリソースが重要な役割を果たしていると認識しています。また同国のフェミニスト国際援助政策を踏まえ、カナダ政府はGPEIに対し、最前線の活動からプログラム管理、政治的リーダーシップまで、このプログラムで女性が果たす重要な役割を生かすことを奨励しています。UNICEF(国連児童基金)のポリオ根絶プログラム責任者、アキール・アイヤー氏は次のように語っています。「カナダ政府からの新たな資金提供は、ポリオとの歴史的な闘いにおいてカナダの人びとが果たしてきた大きな役割の証であり、私もカナダの一国民としてこの取り組みに参加できることを誇りに思います。1950年代にカナダで発生したポリオの大流行では、より多くの子どもがまひを患ったり、命を落としていたかみもしれず、経済の悪化により数百万人が貧困や不健康の悪循環に陥っていたかもしれません。しかし、ポリオワクチンの大量生産に成功したレオン・ファレル博士の科学的的大発見や、強力なリーダーシップ、ラーニング・ヘルスシステムのおかげで、カナダはポリオの大流行を克服し、その後の数十年間で発展を遂げることができました。人びとが一致団結してポリオを世界から永遠に根絶させようと努力する姿は、かつてないほどに感動を与えています」今回発表された新しい公約が、ポリオ根絶に向けたカナダのリーダーシップとパートナーシップの延長線上にあることから、カナダ全土のロータリークラブがこれを歓迎しました。カナダ政府は、GPEIの援助国となった1986年から今日に至るまで、全国のロータリークラブと密に協力しています。また、カナダのロータリアンたちも現在までに4130万米ドル(約44億3千万円)以上を集め、ポリオ根絶活動に寄付しています。世界保健機関のポリオ根絶プログラム責任者、マイケル・ザフラン氏は次のように述べています。「世界からポリオを根絶するという目標において、カナダ政府とカナダ国民の皆さまからいただいた多大なるご支援とご協力に対し、GPEIパートナー団体からの深い感謝の意を表明します。現在直面しているパンデミックにより、私たちはすべてのレベルにおいて結束が不可欠であるということ、国際協力の必要性、そしてワクチンと予防接種の力を改めて実感しています。カナダは現在、公約を実行に移している段階にあり、不可欠な予防接種の提供、男女平等を推進する活動の主導、感染症の負担軽減において、再び模範となるべく率先して取り組んでいます」